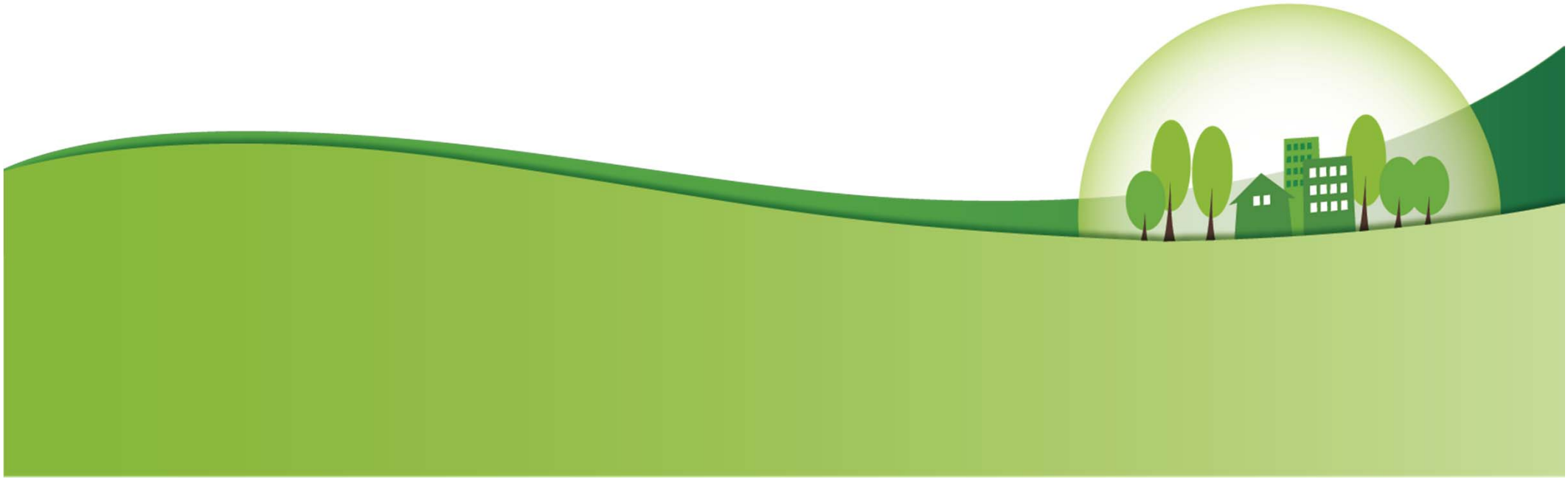
2014年３月期　決算説明資料

2014年5月19日

株式会社 アサンテ

証券コード6073



2014年３月期　トピックス

■ 当社を取り巻く環境

- ◆ 地震災害（南海トラフ地震、首都圏直下型地震）に対する防災意識は依然高い
- ◆ 既存住宅の流動性向上・財産価値向上の意識から、家屋保全意識が向上
- ◆ 労働需給の逼迫、採用市場の競争激化

■ 当社の取り組み

- ◆ 新規上場、設立40周年を機に広報・販促活動を強化
- ◆ 取締役総務部長、取締役HA事業部長選任、営業組織再編
- ◆ 京都支店開設
- ◆ 株主優待制度の導入

2014年３月期　損益概況（前期比）

- ５期連続増収増益、利益は過去最高益を更新。
- 売上高は、各サービスともに好調に推移し7.0%増。
- 営業利益は、生産性の向上により17.5%増。
- 経常利益は、2013年３月期に発生したIPO費用がなかった影響もあり20.2%増。
- １株当たり当期純利益は、期中平均株式数14.5%増の影響により0.1%減。

（単位：百万円）

	2013年３月期		2014年３月期			
	実績	構成比（%）	実績	構成比（%）	前期比	増減率（%）
売上高	12,079	100.0	12,924	100.0	845	7.0
売上総利益	8,733	72.3	9,339	72.3	605	6.9
営業利益	2,188	18.1	2,570	19.9	382	17.5
経常利益	2,135	17.7	2,566	19.9	430	20.2
当期純利益	1,205	10.0	1,378	10.7	173	14.4
１株当たり当期純利益(円)	114.42	—	114.26	—	△0.16	△0.1

2014年３月期　損益概況（業績予想比）

- 売上高は、HA事業において白蟻防除が計画ほど伸びず達成率99.1%。
- 経常利益は、人員コストの計画比マイナス、その他費用のローコストオペレーションにより、達成率109.5%。同率は1.9ポイントのプラス。
- 当期純利益、１株当たり当期純利益も計画比プラス。

（単位：百万円）

	2014年３月期 業績予想		2014年３月期 実績			
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	予想比	達成率（%）
売上高	13,040	100.0	12,924	100.0	△ 115	99.1
売上総利益	9,432	72.3	9,339	72.3	△ 92	99.0
営業利益	2,348	18.0	2,570	19.9	222	109.5
経常利益	2,344	18.0	2,566	19.9	222	109.5
当期純利益	1,341	10.3	1,378	10.7	37	102.8
１株当たり当期純利益(円)	110.07	—	114.26	—	4.18	103.8

2014年３月期　セグメント別損益実績（前期比）

- HA事業は全サービス区分で増収し、売上高は7.1%増。セグメント利益は人件費率の低下等により12.3%増。
- TS事業は、売上高は前期比2.7%増。セグメント利益も増加。

（単位：百万円）

	2013年３月期		2014年３月期			
	実績	構成比（%）	実績	構成比（%）	前期比	増減率（%）
HA事業売上高	11,863	98.2	12,702	98.3	839	+ 7.1
うち 白蟻防除	5,318	44.0	5,561	43.0	242	+ 4.6
うち 床下等換気システム	2,774	23.0	3,046	23.6	271	+ 9.8
うち 基礎補修・家屋補強	3,357	27.8	3,653	28.3	296	+ 8.8
うち その他	412	3.4	441	3.4	28	+7.0
HA事業セグメント利益	3,346	—	3,757	—	411	+ 12.3
TS事業売上高	215	1.8	221	1.7	5	+ 2.7
TS事業セグメント利益	3	—	6	—	2	+ 97.0
全社費用	1,160	—	1,192	—	31	+ 2.7
営業利益	2,188	18.1	2,570	19.9	382	+ 17.5

2014年３月期　セグメント別売上実績（予想比）

- HA事業は、床下等換気システム、基礎補修・家屋補強が計画を上回った。
- 白蟻防除は下半期に復調傾向となったが上半期のマイナスを吸収できず計画を下回った。

（単位：百万円）

	2014年３月期 業績予想		2014年３月期 実績			
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	予想比	達成率（%）
HA事業売上高	12,810	98.2	12,702	98.3	△ 107	99.2
うち 白蟻防除	5,820	44.6	5,561	43.0	△ 258	95.6
うち 床下等換気システム	2,960	22.7	3,046	23.6	86	102.9
うち 基礎補修・家屋補強	3,590	27.5	3,653	28.3	63	101.8
うち HAその他	440	3.4	441	3.4	1	100.4
TS事業売上高	230	1.8	221	1.7	△ 8	96.3

2014年３月期　主な経費実績

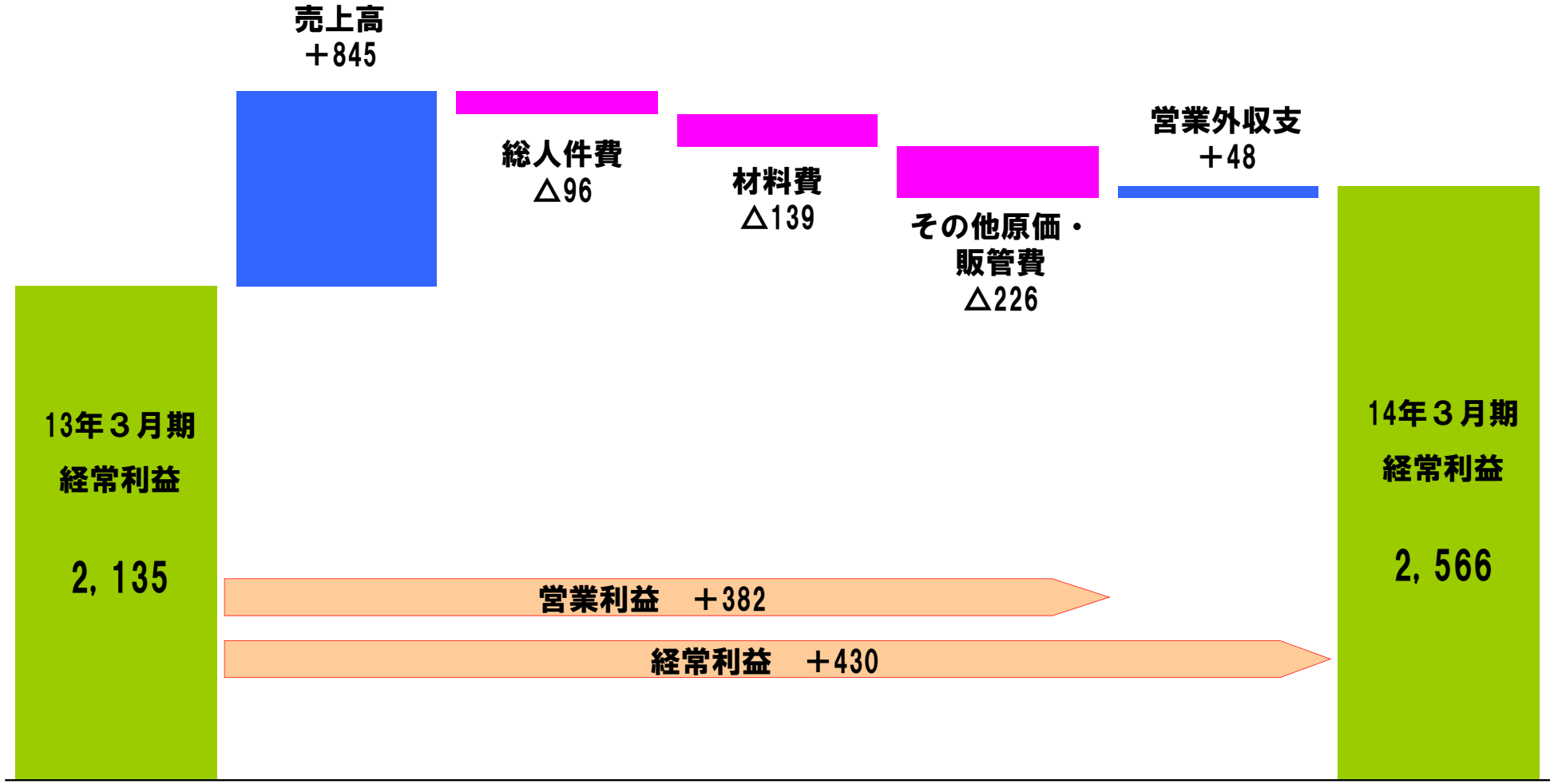
- 売上原価は、主に商品構成の変化に伴う材料費の増加もあり7.2%増。
- 販・管費は、人件費が1.0%の増加に止まったことで他コスト増加分を吸収し、3.4%の増加に止まった。

（単位：百万円）

	2013年３月期	2014年３月期		
	実績	実績	前期比	増減率（%）
売上高	12,079	12,924	845	＋ 7.0
売上原価	3,345	3,584	239	+ 7.2
材料費	1,445	1,584	139	+ 9.6
労務費	1,198	1,248	50	+ 4.2
その他原価	701	751	49	+ 7.1
販売費及び一般管理費	6,545	6,768	222	+ 3.4
人件費	4,475	4,521	46	+ 1.0
その他販管費	2,069	2,246	176	+ 8.5
総人件費	5,673	5,770	96	+ 1.7
売上高総人件費比率	47.0%	44.6%	△ 2.3ﾎﾟｲﾝﾄ	―

2014年３月期　経常利益増減分析

（単位：百万円）



2014年３月期　貸借対照表

（単位：百万円）

	2013年３月期	2014年３月期	増減	主な増減要因
現金及び預金	3,560	4,955	1,395	営業キャッシュ・フロー1,559
売掛金	1,597	1,777	179	
有形・無形固定資産	4,290	4,149	△ 140	減損損失
投資その他の資産	764	653	△ 110	前払年金資産増加 繰延税金資産取崩し、投資有価証券売却
資産合計	10,643	12,006	1,362	
買掛金	237	253	16	
長短借入金	1,298	1,191	△ 106	長期借入金減少
未払法人税	509	726	216	
負債合計	3,649	3,852	203	
利益剰余金	5,045	6,185	1,139	
純資産合計	6,994	8,154	1,159	

2014年３月期　キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

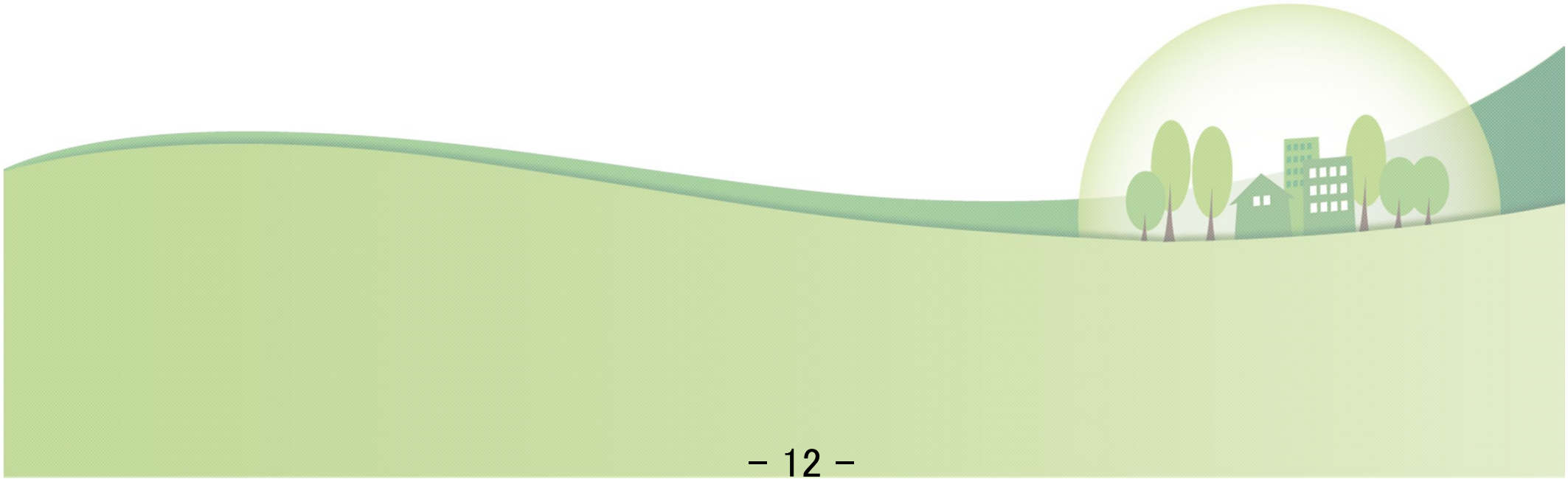
	2013年３月期	2014年３月期	増減	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,060	1,559	499	税引前当期純利益の増加 515
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 73	155	228	投資有価証券の売却による収入 214
財務活動による キャッシュ・フロー	615	△ 319	△ 934	株式の発行による収入 △927
現金および現金 同等物の増減額	1,602	1,395	△ 207	
現金および現金 同等物の期首残高	1,957	3,560	1,602	
現金および現金 同等物の期末残高	3,560	4,955	1,395	

2014年３月期　経営指標

	2013年３月期	2014年３月期	増減
流動比率	248.2%	281.4%	33.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
自己資本比率	65.7%	67.9%	2.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
有利子負債依存度	12.2%	9.9%	△ 2.3 ﾎﾟｲﾝﾄ
売上高営業利益率	18.1%	19.9%	1.8 ﾎﾟｲﾝﾄ
総資産経常利益率[ROA]	21.9%	22.7%	0.7 ﾎﾟｲﾝﾄ
自己資本当期純利益率[ROE]	20.2%	18.2%	△ 2.0 ﾎﾟｲﾝﾄ
１株当たり当期純利益	114.42円	114.26円	△0.16円
１株当たり純資産	584.54円	668.66円	84.12円
配当性向	17.5%	21.9%	4.4ﾎﾟｲﾝﾄ
純資産配当率	3.8%	4.0%	0.2ﾎﾟｲﾝﾄ

2015年3月期　決算予想

※ 業績予想は、直近の予想値（2014年5月9日公表）を用いております。



2015年３月期　業界環境と具体的施策

■ 当社を取り巻く環境

- ◆ 第１四半期において消費の減退が予想されるが、同時期における当社サービスへのニーズの高まりに変化はないと見ている
- ◆ 採用市場は依然厳しい状況が続く

■ 当社の施策

- ◆ 2014年４月　東証１部上場
- ◆ エリア戦略推進　　和歌山支店開設
- ◆ 広報・販促強化　　キー局を含むCM拡大実施

新CM「白い紳士」（一部地域を除き５月より放送開始）

「標的編」



「存在編」



2015年３月期　業績予想

- **売上高は前期比7.9%増の139億円**
  トップシーズンを含む上半期を中心に増収を図る。
- **経常利益は6.3%増の27億円**
  広告・販促・採用コスト増を見込むが、営業効率を高め高利益率を維持。
- **当期純利益、１株当たり当期純利益は大幅増**

（単位：百万円）

	実績	業績予想					
	2014年３月期	2015年３月期　２Q累計			2015年３月期		
	金額	金額	構成比（%）	増減率（%）	金額	構成比（%）	増減率（%）
売上高	12,924	7,572	100.0	+ 8.4	13,946	100.0	+ 7.9
売上総利益	9,339	5,549	73.3	+ 8.4	10,090	72.4	+ 8.0
営業利益	2,570	1,819	24.0	+ 7.8	2,730	19.6	+ 6.2
経常利益	2,566	1,822	24.1	+ 8.5	2,727	19.6	+ 6.3
当期純利益	1,378	1,108	14.6	+ 5.6	1,640	11.8	+ 19.0
１株当たり当期純利益(円)	114.26	90.63	—	+ 3.7	133.56	—	+ 16.9

2015年３月期　セグメント別売上予想

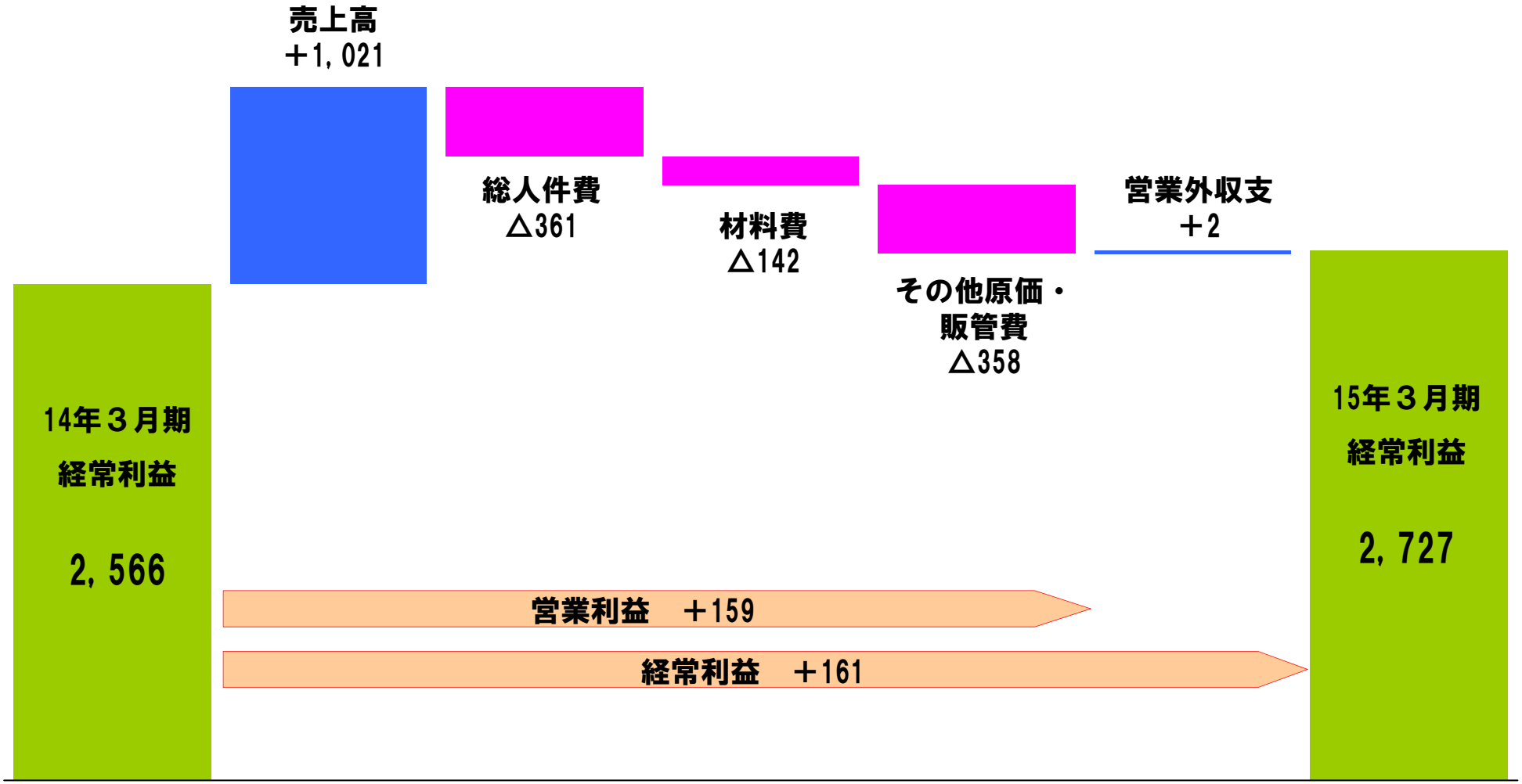
- HA事業は、東証一部上場を足掛かりに、トップシーズンを中心に広告、販促を集中して新規受注増加を図る。更新白蟻防除の対象件数も前期比増加。
- TS事業は、前期における年間契約受注増加分に加え、新規のスポット契約にも注力。

（単位：百万円）

	実績	業績予想					
	2014年３月期	2015年３月期　２Q累計			2015年３月期		
	金額	金額	構成比（%）	増減率（%）	金額	構成比（%）	増減率（%）
HA事業売上高	12,702	7,456	98.5	+ 8.4	13,715	98.3	+ 8.0
うち 白蟻防除	5,561	3,507	46.3	+ 8.3	6,031	43.2	+ 8.4
うち 床下等換気システム	3,046	1,818	24.0	+ 5.2	3,222	23.1	+ 5.8
うち 基礎補修・家屋補強	3,653	1,875	24.8	+ 12.5	3,968	28.5	+ 8.6
うち HAその他	441	256	3.4	+ 5.1	494	3.5	+ 11.9
TS事業売上高	221	115	1.5	+ 4.5	231	1.7	+ 4.3

2015年３月期　経常利益増減分析

（単位：百万円）



2015年３月期　配当予想

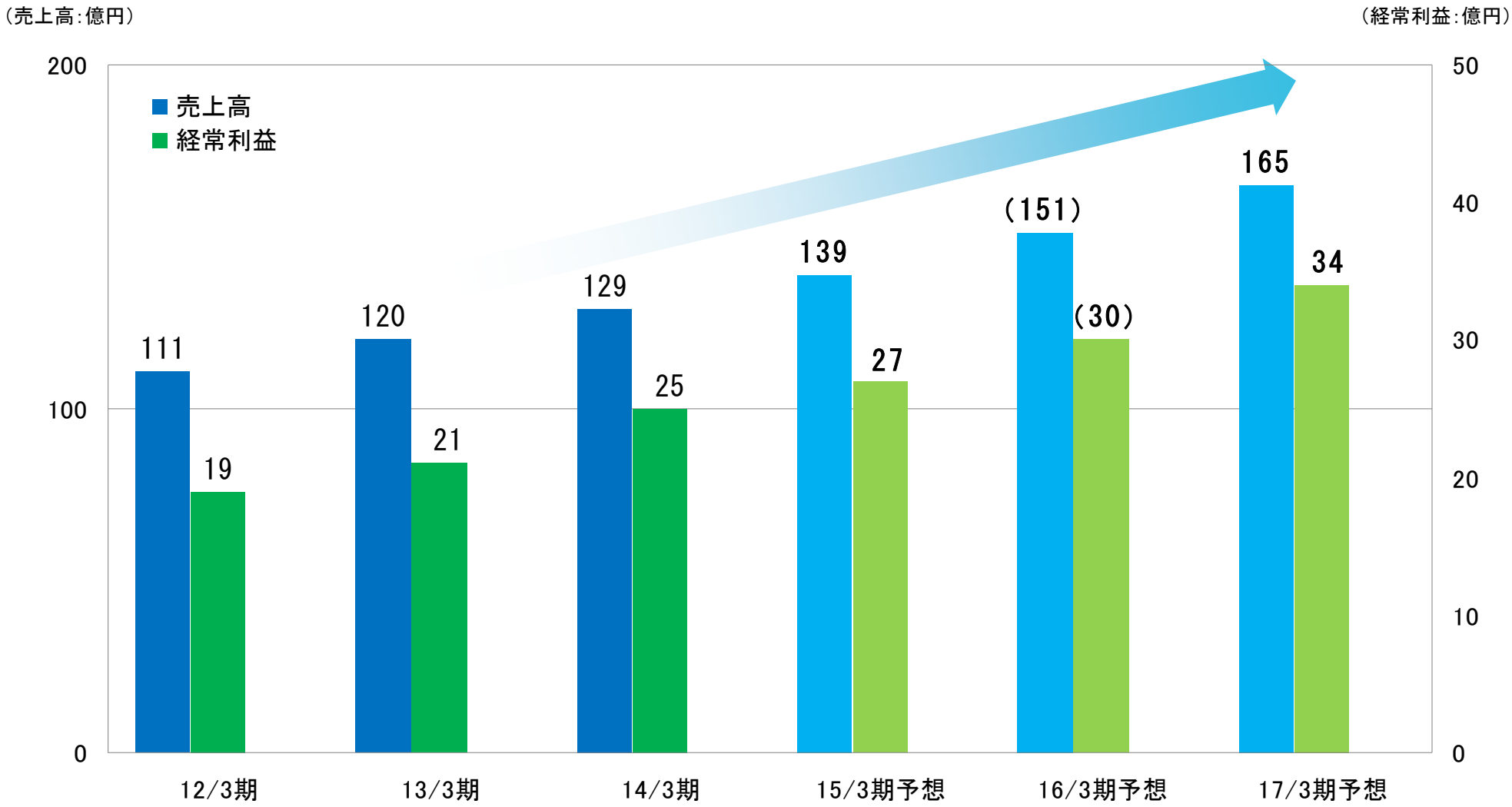
配当方針

当社は、株主に対する利益還元を最優先に考え、配当につきましては、安定的な配当の維持を基本として配当性向、企業体質の強化及び内部留保の充実等を総合的に勘案のうえ決定しております。

1株当たり配当金		
2013年３月期	2014年３月期 （予定）	**2015年３月期 （予想）**
20.00円	25.00円	**32.00円**

2015年３月期　中期経営計画

- 引き続き、８%以上の安定的な増収率と高利益率の維持、向上を目指す。
- ３年後の売上高は165億円、経常利益は34億円へ。



株主優待制度

- 株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に、中長期的に当社株式を保有していただくため、株主優待を実施することといたしました。

対象株主様	毎年３月31日、９月30日現在の株主名簿に記録された、１単元（100株）以上保有されている株主様を対象といたします。
優待内容	対象となる株主様に対して、三菱UFJニコスギフトカード1,000円分を贈呈する予定であります。
贈呈時期	毎年６月、12月の発送を予定しております。

※2014年３月31日現在の株主名簿に記録された１単元（100株）以上保有されている株主様を対象に開始いたしました。



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。